

ハイヤー・タクシー業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	車イスのお客様を自宅までお送りし、車から車イスを降ろし玄関の中に入り、部屋までお連れするために上がりかまちの所で車イスを両手で持ち上げた際に左膝をひねり負傷した。	66~99	50
1	18~19	住宅の敷地で乗客を降ろし、タクシーをバックさせようとしたが、路面が凍結していて後輪が空転してしまったため、車の前に回り込みボンネットを両手で力いっぱい押した所、突然左足くるぶし辺りに激痛がはした。	59~99	10
1	8~9	降車時に乗客がタクシーから車椅子に移る際、足が不自由のため補助した際、被災者の体勢が悪く、左肩から音がし、違和感が生じ、その直後に左腕が動かなくなった（左肩上腕二頭筋損傷の疑い）。	69~99	30
2	19~20	入口前で、ジャンボハイヤーの乗客乗降口付近で待機していたところ、お客様が乗車しようと車両前に来た所で、足を滑らせ転倒しそうになったので助けようと腕を伸ばし身体を抱える状態で無理な姿勢となり背中や腕をひねり負傷した。肩や腰に痛みを感じながらも勤務していたが痛みが治まらず、後日病院へ行った。	50	1~9
2	10~11	当方タクシー業務において空車進行中に歩道に乗客の手が上がり停車した。その乗客が大型のスーツケースを持っていた為に車両トランクを開け、当方が持ち上げトランク内に入れようとしたところ、腰部を痛めたものである。（転倒なし）	46~99	500
2	3~4	当該乗務員とお客様との間にトラブルがあった。そのため当該乗務員と共にお客様のアパートに謝罪に行った。その際、当該乗務員がお客様から腕を引っ張られた。	51~99	30
		男性客が降車する際、お客様が使用している電動車イスを車のトランクから降ろす		100

3	11~12	ときに腰に痛みを感じた。すぐに痛みは回復すると思っていたが、徐々に痛みが増してきた。	58	~ 299
3	10~11	要介護のお客様を迎えに行き、車椅子へ乗せるとき、乗客の体を持ち上げようとしたときに腰に痛みを感じた。	50 51	~ 99
3	5~6	入社後、ロッカールームでレインウェアのズボンを脱ごうとした際に足首をひねった。	61	100 ~ 299
3	17~18	お客様をお送りし、精算時に助手席のお客様が後部右に乗車している幼児を降車させるため左後部ドアを開けた際、運転席左側にあるドアと連動しているレバーが手前に倒れ、左足がそのレバーと座席に挟まり、無理に引き抜いたところ膝を捻り負傷した。	59	100 ~ 299
4	11~12	無線にてお客宅へ迎えに行き、旅行用のスーツケースを2個トランクへ入れ駅に到着後、トランクより1個目を降ろした後に2個目のトランクを持ち下りる際に腰部に激痛が走った。車庫に戻っても痛みが続いたため様子を見たが、痛みが酷くなり早退した。	57	100 ~ 299
4	7~8	敷地内駐車場を歩行中、段差で左足を捻り、左足中足骨を骨折した。	60	100 ~ 299
4	8~9	就業場所に到着して着替えのため靴をぬぎスリッパに履き替えようとし、下駄箱から取り出そうと屈んで手を伸ばした時に腰に強い痛みが出た。	30 50	~ 49
4	7~8	本社営業所において、入社時に自分のタクシーを洗車しようと、洗車場から降りる際に足を滑らせひねり、左足甲を骨折した。（傾斜を油断してひねった。）	61	10 ~ 29
5	1~2	仕事終了時、車庫前で車の洗車中、道路の凹凸に足を取られ右足首をひねり、甲を骨折した。	64	10 ~

				29
5	8~9	駅にて待機中、車両から離れていたところ、客が乗り込みに来たので慌てて戻ろうと急に走ったところ、左足ふくらはぎに激痛を感じ、左腓腹筋損傷となった。	50	100 ~ 299
5	10~ 11	業務中お客様荷物をトラックに入れる際、腰部に痛みがあり負傷した。	55	100 ~ 299
5	18~ 19	待機場にて車内で片付けをしていたところ、タオルを落とし拾おうとして左肩を捻る。大雨が降っていたので車内で左手を突っ張った状態で右手で取ろうとして左肩を捻った。タオルを取った瞬間に左肩付近でバキッと音がし、痛みでしばらく動けなくなった。	58	10 ~ 29
5	17~ 18	駅から乗車した客のスーツケース2つ（重量1つ15kgはあったと思われる）を両手で抱えトランクへ載せたところ、思いのほか重さがあり、両肩に痛みを感じたが、そのまま客を自宅へ送り届け、降車時にトランクに載せたスーツケースを降ろす際にピキッと両肩に激痛が生じた。	63	30 ~ 49
6	8~9	タクシー営業中、乗客が降車し、トランクにある乗客の荷物を降ろす際に負傷したものである。	50	—
6	9~ 10	出庫点検の後、立体駐車場に停めてある自家用車に荷物を取りに行き、スロープよりタクシー車両へ移動した際、濡れたスロープで足を滑らせ、右足で転倒を食い止めた為、過度の力が加わり、右足首のくるぶしを骨折したものである。	59	100 ~ 299
7	22~23	タクシー運転中、安全確認のため、運転席から後ろを振り返った際、首をひねった。その後も、左右や後ろの確認で首を動かす度に痛みがあった。	47	30 ~ 49
7	6~7	お客様のお荷物（約5kg）をトランクに積み込むため中腰で作業を行った際、腰部を負傷した。	43	100 ~ 299
	19~	タクシー車両を出庫の際、止めてあった場所の段差に気が付かず、左足首を強く捻		30

7	20	じった。	66	～ 49
7	16～ 17	路上に降車する際に、右足を捻り転倒し、右足首を骨折した。	65	～ 299
7	16～ 17	お客様の大型スーツケースをトランクから降ろす際、左肩から背中や腰に掛けて激痛が発生した。それ以降も業務を継続したが、痛みが酷くなった。	55	～ 299
7	10～ 11	福祉車両でお客様宅に着き、ストレッチャーを玄関から抱えて出てくるとき、傾かないように水平に保とうとして、腰を痛めてしまった。	48	～ 99
9	11～ 12	皮膚科クリニックの駐車場において、お客様に手を貸そうと屈んだところ負傷したもの。	63	～ 299
9	20～ 21	当該乗務員は、夜勤勤務に従事し、無線配車のお客様をお迎えにあがり、そのお客様の車いすをトランクに積み込む際、腰を痛めたがそのままお客様を目的地までお送りしたあと、痛みが引かない為近くの医療機関を受診した所、そのまま入院となったもの。	65	～ 299
9	15～ 16	タクシーのお客様の自宅前で、身障者で両足が不自由なため、タクシーから玄関までの間、抱きかかえて移動中、腰に負担がかかり負傷した。	73	～ 49
9	5～6	大雨の朝、乗務員は社内駐車場で帰庫時、ドアを開け車から降りる際、足が雨で滑り、急いで右足を踏ん張った所、右腿の筋肉を傷めた為、MRI検査を受ける。	44	～ 299
9	10～ 11	タクシー営業中、当方優先で相手側に一時停止義務のある交差点を通過した際、右方から来た一時停止不履行の車両により、当方、右後方部に側面衝突された。	65	～ 299

9	14～ 15	車椅子の男性をご自宅まで輸送、降車後、自宅マンションの入口に階段があるので手伝って欲しいとの要望があり、手伝ったところ車椅子を引き上げた時に、背骨を 68 ～ 299	100 ～ 299
10	15～ 16	トランクからお客様のスーツケースを取り出す際、両腕を伸ばして手前に引こうと 57 ～ 299	100 ～ 299
10	15～ 16	救急車を運転する乗務員派遣業務中、搬送先の病院駐車場において患者を乗せたス 66 ～ 99	50 ～ 99
10	16～ 17	タクシーに乗客を乗せて空港に到着し、トランクからゴルフバックを取り出すた 69 ～ 9	1～ 9
11	13～ 14	勤務中、女性のお客様が乗車し、おつりを渡すため運転席で体を左方向に捻り後部 62 ～ 299	100 ～ 299
11	5～6	出社し、日常点検を済ませ運転日報の指数を確認中（ドライブレンジに入ったま 69 ～ 49	30 ～ 49
11	2～3	酔客を降した後、酔客が道路上で寝てしまったので、後ろから立たせた時、そのま 62 ～ 299	100 ～ 299
11	9～ 10	タクシーの営業車内において清掃作業中、後部座席のシート交換作業をしていた時 61 ～ 299	100 ～ 299
11	15～ 16	タクシー左リヤタイヤを脱輪し、被害労働者本人が自力でリヤバンパーを持ち上げ 81 ～ 99	50 ～ 99
	9～	当日、営業所内の洗車場でタクシー車両のタイヤ交換作業中、3本目のタイヤを交 50	50

11	10	換時に、腰を圧迫して骨折した。	69	～ 99
11	14～ 15	1日平均2～3人（体重30kg～80kg）のお客様の介助及び長時間の運転による腰の疲労・負担が蓄積した状況の中、タクシー利用のお客様のご自宅において、お客様を車椅子に移乗する際、体重80kg以上ある男性のお客様が後ろにふらつきバランスを崩された。咄嗟にお客様の身体を後ろから持ち上げるように支えたところ、腰に負担がかかり、突然、強い痛みを感じた。その後、病院で腰椎椎間板症と診断された。（介護職歴通算10年以上）	36	1～ 9
11	10～ 11	冬用のタイヤに交換する為、タイヤを整備場へ持って行こうと車両のトランクへ積み込んだところ、腰部に激痛があり負傷したものである。	37	100 ～ 299
11	8～9	お迎え先の玄関でお客様が倒れていた為、助け起こそうとしたところ、腰に痛みが生じたものである。	59	100 ～ 299
11	23～ 24	路上にて客を迎えに行き、タクシーに乗せようとした時、乗せようとした客（酒に酔っていた）から、料金の見込額を問われたが、入社間もない被災者がうまく答えられなかったためか、客が突然怒りだし、殴る、蹴る、首を絞めるなどの暴行を受けた。被災者は車に避難し、間もなく警察が到着し、相手は現行犯逮捕され連行された。その後、被災者は救急車で病院へ行った。	52	10 ～ 29
12	13～14	当該乗務員は、出番日に於いて、勤務中、足が不自由で車いすを使用していたお客様を病院から自宅までお連れし、お客様の履物がスリッパであった為、親切心で玄関先までおんぶをした所、腰を痛めたもの。	62	300 ～ 499
12	23～24	交差点にて北向きで信号待ちをしている時に後方から飲酒運転の盗難車に当て逃げをされた。すぐに追いかけて、住宅地内ではつかまえた。その際もバックで衝突された。	44	300 ～ 499
12	19～20	タクシーでお客様を迎えに行った際、スーツケースを車のトランクに積み込もうとした所、風が吹いてトランクが閉まりそうになったので、とっさに押さえようとした際、右足にしびれと痛みが走った。	46	100 ～ 299

12	16~17	空港の施設内にて、駐車カードに印をもらいに行く際、急いでいたため、足がねじれた状態で強く踏み込んでしまい、左足の踵を骨折した。	45	300 ~ 499
12	22~23	営業中、車内の下にあるレシート発行機に手を伸ばしたときに、コキッと音がして胸の下辺りが痛み出した。翌日に病院へ行ったところ、肋骨骨折と診断された。	56	100 ~ 299
12	20~21	停車中のタクシー車内で助手席の背もたれを倒そうとレバーを引いたとき、左手先から肩にかけて激痛がはしり、帰宅して湿布を貼ったがなかなか治らなかった。接骨院で治療したが良ならず、病院を受診しMRI検査をした結果、腱板断裂と診断された。	60	100 ~ 299
12	19~20	お客様の荷物をトラックに積み込むとき、荷物がかかり重かったため横にし、前屈みの状態から持ち上げたところ、腰を痛めて就業できない状態となった。	53	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html